

作成年月日	令和4年12月14日
作成部局	危機管理部防災支援課

「ひょうご安全の日のつどい」等の実施

阪神・淡路大震災の経験と教訓を地域や世代を越えて発信・継承するため、令和5年1月17日（火）に「ひょうご安全の日のつどい」を実施する。

また、1月の「減災月間」を中心に、関連事業を県内各地で実施する。

1 「ひょうご安全の日のつどい」の実施（別添1参照）

ひょうご安全の日推進県民会議が、令和5年1月17日（ひょうご安全の日）に、「震災を風化させないー『忘れない』『伝える』『活かす』『備える』」をテーマとして「ひょうご安全の日のつどい」を実施する。

なお、引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向には十分注意していく必要があるため、基本的な感染防止対策を徹底した上で実施する。

〔概要〕

- (1) 実施日：令和5年1月17日（火）
- (2) 実施場所：HAT神戸 他
- (3) 構成：①1.17のつどい（追悼行事） [11:50～12:30]
 ②1.17ひょうごメモリアルウォーク 2023 [10:00～11:30]
 ③防災ウォーク^{そなえ} 備 [13:00～15:00]
 ④交流ひろば・交流ステージ [10:30～15:00]
 ⑤防災訓練 [13:00～15:00]

※ 1月17日（火）は、人と防災未来センターを無料開館しています。

2 「減災月間」事業の実施（別添2参照）

県民、NPO、各種機関・団体等が、阪神・淡路大震災の経験と教訓を忘れることなく、安全で安心な社会づくりを推進するため、県内各地で様々な取り組みを実施する。（99事業）

（主な事業例）

実施日	事業名 [実施主体]	実施場所
1/8 （日）	1.17 防災未来賞「ぼうさい甲子園」表彰式・発表会/ 防災力強化県民運動ポスターコンクール表彰式 [兵庫県、毎日新聞社等]	兵庫県公館
1/24 （火）	国際防災・人道支援フォーラム 2023 [同フォーラム実行委員会]	神戸ポートピアホテル
1/27 （金）	国際復興フォーラム 2023 [国際復興支援プラットフォーム等]	神戸国際会議場

<問い合わせ先> 危機管理部防災支援課防災支援班 TEL:078-362-4354

「ひょうご安全の日のつどい」の実施

I 趣旨

阪神・淡路大震災から 28 年を迎える本年においても、震災の経験と教訓を地域や世代を越えて継承・発信していく必要がある。

このため、令和 5 年 1 月 17 日に、災害文化を社会に定着させ安全で安心な社会づくりを進めるために、「震災を風化させないー『忘れない』『伝える』『活かす』『備える』」をテーマとして「ひょうご安全の日のつどい」を実施する。

なお、引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向には十分注意していく必要があるため、基本的な感染防止対策を徹底した上で実施する。

II 実施概要

1 ひょうご安全の日のつどい

- (1) 実施日：令和 5 年 1 月 17 日（火）
- (2) 実施場所：H A T 神戸 他
- (3) 構成：

① 1.17 のつどい（追悼行事）	〔 11:50～12:30 〕
② 1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2023	〔 10:00～11:30 〕
③ 防災ウォーク備 ^{そなえ}	〔 13:00～15:00 〕
④ 交流ひろば・交流ステージ	〔 10:30～15:00 〕
⑤ 防災訓練	〔 13:00～15:00 〕
- (4) 参加者数：3,000 人（式典以外のイベント等が復活するため昨年度の倍を見込む）
（参考：H30 5,100 人、R1 8,300 人、R2 430 人、R3 1,500 人）
- (5) 実施方針：
 - ① Web 配信による発信力の強化
 - ・大地震への備えとして、今一度、阪神・淡路大震災の経験と教訓の発信を強化するため、昨年度に引き続き、1.17 のつどい（追悼行事）の Web 配信を実施する。
 - ② 内容の重点化（「震災を経験していない若者への経験・教訓の継承」）
 - ・引き続き「震災を経験していない若者への経験・教訓の継承」に重点を置いた内容で実施する。
（例）1.17 のつどい（追悼行事）において、小・中・高校生の未来に向けたメッセージを実施 等
 - ③ 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底
 - ・新型コロナウイルス感染症の動向には十分注意した上で、参加者の適切なマスクの着用、手指消毒等の基本的な感染防止対策等を徹底した上で安全裡に事業を実施する。

2 地域のつどい

地域の特性を踏まえた防災学習等を各県民局・センターで実施する。

ひょうご安全の日のつどい

① 1. 17のつどい（追悼行事）

阪神・淡路大震災で犠牲となられた方々へ哀悼の誠を捧げるとともに、安全・安心な社会づくりに向けて歩む決意を国内外や次世代に発信する「1. 17のつどい」を開催する。



[1.17のつどい]

1 場 所

HAT神戸（人と防災未来センター 慰霊のモニュメント前）

2 時 間

11:50～12:30

3 次 第（予定）

時 間	内 容	
11:50	献奏曲①	（県立西宮高等学校音楽科生徒）
:58	開会のことば	（県民会議副会長：県議会議長）
12:00	黙 禱	
	「カリヨンの鐘」鳴鐘	（なぎさ小学校児童）
:01	主催者代表挨拶	（県民会議会長：兵庫県知事）
:10	来賓挨拶	
:15	子どもたちからのメッセージ	（なぎさ小学校児童、 渚中学校・舞子高等学校生徒）
:18	献唱曲 ～ しあわせ運べるように ～	（合唱：灘の浜小学校児童）
:23	1.17ひょうご安全の日宣言	（県民会議企画委員長）
:25	献奏曲②	（県立西宮高等学校音楽科生徒）
:30	献花 ※以降、自由献花（17:00 まで）	

4 防寒対策

人と防災未来センターの西館1階ロビーに、高齢者等一般参加者用の座席を設置するとともに、追悼行事会場では風除けテントを設置。

5 新型コロナウイルス感染防止対策

- ・参加者の密集を防止するため、適正な座席間隔を確保し、昨年度に引き続き招待者席数の見直しを実施。
- ・「ひょうご安全の日のつどい」の実施にあたり別途策定する新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインにおける取組みを徹底

② 1. 17 ひょうごメモリアルウォーク2023

阪神・淡路大震災から復興した街並みを歩き、風化しがちな防災意識を高めるため「1. 17ひょうごメモリアルウォーク2023」を実施する。



[メモリアルウォーク]

1 実施内容（予定）

- (1) コース：王子公園補助競技場～HAT神戸（なぎさ公園）
- (2) 距離：約4km
- (3) 時間：10:00～11:30（集合：9:30～10:30）
- (4) 参加定員：500名（事前申込制。定員に達した場合は抽選）

2 新型コロナウイルス感染防止対策

- ・「段階的スタート」により参加者を分散
- ・参加者は、健康状態申告書（直近2週間の健康状態）を提出
- ・受付時や会話をする時などはマスクを着用
- ・こまめな手指消毒 等

③ 防災ウォーク備そなえ

日本ウォーキング協会等との連携の下、災害時を想定した歩き方体験、防災学習等を組み合わせた体験型イベントを実施する。

1 実施内容（予定）

- (1) コース：HAT神戸（なぎさ公園）～みなとのもり公園
- (2) 距離：約2km
- (3) 時間：13:00～15:00（集合：12:30～13:00）
- (4) 参加定員：200名（事前申込制。先着順）
- (5) 内容：災害時を想定した歩き方のワークショップ、防災クイズに挑戦するウォークラリー&抽選会

2 新型コロナウイルス感染防止対策

- ・「段階的スタート」により参加者を分散
- ・参加者は、健康状態申告書（直近2週間の健康状態）を提出
- ・受付時や会話をする時などはマスクを着用
- ・こまめな手指消毒 等



■当日の関連事業

○ぼうさいこくたい 2022 スタンプラリー 27 年前の阪神・淡路を動画でみてあるく【内閣府】

チェックポイント 40 カ所を巡って、災害の教訓を学びながら街あるきが楽しめるデジタルスタンプラリー（ぼうさいこくたい 2022 関連企画）

- ・実施期間：令和 4 年 9 月 1 日（木）～令和 5 年 1 月 17 日（火）
- ・周辺チェックポイント：王子公園、みなとのもり公園 等

④ 交流ひろば・交流ステージ

1 交流ひろば

県民の防災・減災意識の向上を図るため、NPO やボランティアグループ、防災関係機関等による活動展示等を実施する。

今回は「若者への経験・教訓の継承」に重点を置いた展示等を実施する。



[交流ひろば]

(1) 内容

時 間	内 容
10:30 ～ 15:00	【若者への経験・教訓の継承】 ○若者グループによる防災活動紹介 ○県内学校（高等学校、大学等）の防災教育の実践紹介 等
11:45～ 13:00 追悼行事 の間中断	【防災・減災展示】 ○防災体験学習コーナー ○起震車による地震体験 ○防災用品、備蓄物資（非常用食糧等）の展示紹介 ○住宅耐震化や室内安全対策の学習・相談コーナー ○防災や震災復興等の活動状況紹介 ○兵庫県住宅再建共済制度PR ○関西広域連合の取り組み（防災庁設置に向けた要望活動等）等

(2) 新型コロナウイルス感染防止対策

① 出展内容に応じた感染防止対策の徹底

- ・炊出し等ブースにおける調理及び飲食物（その場での飲食を目的とするもの）の提供は実施しない。（ただし、その場での飲食を目的としない非常食等の配布は可能。）
- ・「ひょうご安全の日のつどい」の実施にあたり別途策定する新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインにおける取組みを徹底（主な例（予定））

ブース内デザインにあたり、密を発生させるリスクを抑えるよう通常よりスペースに余裕を確保

② その他の感染防止対策の徹底

- ・手指消毒用のアルコールを設置
- ・適切なマスクの着用

2 新宮晋アートプロジェクト「元気のぼり」

メモリアルウォーク参加者や多くの来場者に鑑賞いただけるよう、交流ひろば会場付近に展示する。

- 新宮 晋（しんぐう すすむ）氏について
- ・造形作家であり世界的な彫刻家（三田市在住）。県立有馬富士公園「風のミュージアム」には、新宮氏が県に寄贈した13点の作品が常設展示されている。
 - ・東日本大震災をうけて、アートプロジェクト「元気のぼり」を立ち上げ、県内だけでなく海外を含む各地でワークショップを開催している。



[元気のぼり]

3 交流ステージ

震災から得た教訓と経験を次世代に繋いでいくため「若者への経験・教訓の継承」に重点化した、県内の若者グループによるステージや、防災・減災活動や復興支援活動にゆかりのあるアーティストによるミニライブ等を実施する。



[ミニライブ]

(1) 内 容 (予定)

開 始	終 了	所要時間	内 容	出演者
11:00	11:20	20分	開会、ミニコンサート	兵庫県警察音楽隊
11:25	11:35	10分	県内の若者グループ①	県立長田高等学校音楽部
(追悼行事のためステージ中断)				
13:20	13:40	20分	県内の若者グループ②	神戸市立須磨翔風高等学校和太鼓部 大地
13:45	14:20	35分	あまゆーずミニライブ	あまゆーず
14:25	15:00	35分	高石ともやミニライブ	高石ともや

(2) 新型コロナウイルス感染防止対策

音楽コンサートにおけるガイドラインに基づく感染防止対策を徹底

- ・舞台と客席との距離を2m以上確保、客席は1m間隔で配置
- ・観客参加型演出（コール&レスポンス、一緒に歌う等）、観客同士の接触（ハイタッチ、手をつなぐ等）の禁止
- ・出演者毎にマイク交換、機材を消毒 等

⑤ 防災訓練

安全で安心な社会づくりをめざし、防災関係機関と連携した防災訓練を、なぎさ公園周辺において実施する。

1 内容

時 間	内 容 (予定)
13:00 ～ 15:00	【デモンストレーション型訓練】 ○ドローンを活用した避難広報訓練 ○要支援者避難誘導訓練 ○負傷者等搬送訓練 等 【展示】 ○災害対策車両等の展示 等

※参加機関：陸上自衛隊 第3特科隊、海上自衛隊 阪神基地隊、神戸海上保安部、
神戸市消防局、兵庫県警察本部、日本赤十字社 兵庫県支部、公益社団
法人 兵庫県看護協会

2 新型コロナウイルス感染防止対策

- ・「ひょうご安全の日のつどい」の実施にあたり別途策定する新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインにおける取組みを徹底

地域のつどい

1 趣 旨

安全で安心な社会づくりをめざし、各県民局・県民センターを中心に、各地域の特性を踏まえた「ひょうご安全の日 地域のつどい」を、新型コロナウイルス感染防止策を徹底のうえ実施する。

2 場 所

県内各地域（各県民局・県民センター単位で実施）

3 実施日

令和5年1月17日を中心に実施

4 内 容

各地域の防災の課題等を踏まえた内容により実施

- 1. 17ひょうご安全の日宣言の発信
- 兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）の啓発
- 防災講演会、防災学習会
- 阪神・淡路大震災、防災・減災の取組教訓パネルの展示 等

[実施予定]

地 域	日 程	場 所
神 戸	1月4日～17日	神戸市内
阪神南	12月26日～1月26日	尼崎市内
阪神北	1月14日	三田市内
東播磨	1月22日 1月29日	明石市内 加古川市内
北播磨	1月17日	加東市内
中播磨	1月17日付近	中播磨管内
西播磨	1月21日	宍粟市内
但 馬	1月10日～20日	豊岡市内
丹 波	1月17日	丹波市内
淡 路	1月17日	淡路市内

【参考】 5時46分行事

1 趣 旨

阪神・淡路大震災が発生した午前5時46分に、震災犠牲者の追悼のための黙
祷、鳴鐘等を実施し、安全・安心な社会づくりを誓う。

2 実施場所

時 間	実施内容	場 所
5 : 4 0	集 合	県庁2号館13階 みどり展望園
5 : 4 6	黙 祷	
	鳴 鐘	
5 : 5 0	知事訓示	
6 : 0 0	解 散	

3 出席者

知事、片山副知事、服部副知事、防災監兼危機管理部長、技監、
新県政推進室長兼総務部長、農林水産部長、土木部長、
危機管理部幹部職員の計12名

「ひょうご安全の日」地域のつどい

地域	事業名	実施日	参加予定人数	実施場所	実施概要	実施主体
神戸	「ひょうご安全の日」 神戸地域のつどい	R5.1.4~17	新長田合同庁舎への来庁者	新長田合同庁舎1階北エントランス	〈防災啓発〉 ・「振り返る阪神・淡路大震災」広報パネルの展示 ・フェニックス共済のPR	神戸県民センター 県民交流室総務防災課 (TEL:078-647-9071)
阪神南	「ひょうご安全の日」 阪神南地域のつどい	R5.1.16~20 (2,4,6のみ) R5.1.17 (1,3,5のみ)	尼崎総合庁舎の来庁者	尼崎総合庁舎1階ロビー	1 避難所体験 避難所用間仕切り、折りたたみベッド等の展示 2 啓発動画放映 兵庫県防災ムービー「教えて！コウノトリ博士」の放映 3 新聞紙スリッパ作り方講座 4 備蓄食糧の配布 5 「1.17のつどい(追悼行事)」のリアルタイム放映 6 フェニックス共済の普及啓発 パンフレット、啓発グッズ等の配布	阪神南県民センター 総務防災課 (TEL:06-6481-4543)
		R5.1.17	1.17は忘れない地域防災訓練の参加者	尼崎市立中央中学校	尼崎市主催「1.17は忘れない 地域防災訓練」のメイン会場となる尼崎市立中央中学校において、広報パネル(「振り返る1995.1.17 阪神・淡路大震災」)を展示する	阪神南県民センター 総務防災課 (TEL:06-6481-4543) 尼崎市 尼崎市教育委員会
		R4.12.26~ R5.1.16/R5.1.18~26	尼崎市役所の来庁者	尼崎市役所本庁舎南館2階廊下	尼崎市役所本庁舎南館2階廊下において、広報パネル(「振り返る1995.1.17 阪神・淡路大震災」)を展示する	阪神南県民センター 総務防災課 (TEL:06-6481-4543) 尼崎市
阪神北	「ひょうご安全の日」 阪神北地域のつどい	R5.1.14	100	三田市商工会館多目的ホール	・基調講演 神戸地方気象台 防災管理官 山本 高男 ・さんだ防災リーダーの会による活動発表及び意見交換会	阪神北県民局 総務防災課 (TEL:0797-83-3124)
東播磨	「ひょうご安全の日」 東播磨地域のつどい ジュニア・地域防災スクール	R5.1.22	30	久保市民センター	○明石会場 ・画像を活用した防災教室 ・ひょうご防災ネットでマイ避難プランを作ろう(兵庫県 多様な避難の手引きを活用) ・防災体験(段ボールトイレ作成、非常持ち出し品を作ってみよう等)	東播磨県民局 総務防災課 (TEL:079-421-9260)
		R5.1.29	30	加古川市防災センター	○加古川会場 ・画像を活用した防災教室 ・ひょうご防災ネットでマイ避難プランを作ろう(兵庫県 多様な避難の手引きも活用) ・防災体験(段ボールトイレ作成、非常持ち出し品を作ってみよう等) ・施設見学・体験(消火器・地震・煙避難体験等)	
北播磨	「ひょうご安全の日」 北播磨地域のつどい	R5.1.17	500	イオン社店	〈防災啓発〉 ・防災活動の啓発パネル展示 ・フェニックス共済のPR・出前受付 ・災害用非常食の配布	北播磨県民局 総務防災課 (TEL:0795-42-9318)
中播磨	「ひょうご安全の日」 中播磨地域のつどい	R5.1.17付近	-	中播磨管内	事業企画提案コンペにて募集中 (R4.11.30まで、12月初旬審査会予定)	中播磨県民センター 県民交流室総務防災課 (TEL:079-281-9040)
西播磨	「ひょうご安全の日」 西播磨地域のつどい	R5.1.21	300	山崎文化会館(兵庫県)	・防災講演会 アウトドア防災ガイド あんどろりす氏 「ゆるっとアウトドアで防災を日常に」 ・防災活動事例発表	西播磨県民局 総務防災課 (TEL:0791-58-2112) 宍粟市
但馬	「ひょうご安全の日」 但馬地域のつどい	R5.1.10~ R5.1.20	豊岡総合庁舎への来庁者	豊岡総合庁舎中2階ロビー	(防災啓発) ・パネル展示(災害時の様子、防災・減災の取組) ・映像上映(災害発生時のメカニズム等) ・フェニックス共済のPR	但馬県民局 総務防災課 (TEL:0796-26-3616)
丹波	「ひょうご安全の日」 丹波地域のつどい	R5.1.17	150	丹波市立春日部小学校	・「ひょうご安全の日宣言」宣誓 ・防災講話 ・防災学習 ①防災クイズ ②地震体験車訓練 ③自衛隊車両の見学等 ④警察車両の見学 ⑤水消火器・煙道体験 ⑥ドローン操縦、消防車両等展示	丹波県民局総務防災課 (TEL:0795-73-3719) 丹波市 ほか
淡路	「ひょうご安全の日」 淡路地域のつどい	R5.1.17	20	北淡震災記念公園	〈追悼行事〉 ・主催者、遺族代表等による精霊流し ・犠牲者への黙祷 ・犠牲者への鎮魂の祈りと復興への想いを込めて、来場者と共に全員で合唱 ・主催者、遺族代表等による献花 ・ひょうご安全の日宣言の読み上げ	淡路県民局 総務防災課 (TEL:0799-26-2012) 淡路市 株式会社ほくだん

「減災月間」事業の実施

ひょうご安全の日推進県民会議では、1月を「減災月間」と定め、県・市町・県民等に対して、ひょうご安全の日の趣旨を踏まえた事業の実施を呼びかけています。

令和5年1月においても、県民、NPO、各種機関・団体等が県内各地で様々な取組みを実施します。

(1) 事業内容別一覧

区分	事業数	主な事業
追悼行事	1 1	ひょうご安全の日のつどい、阪神淡路大震災 1.17 のつどい
シンポジウム	9	国際復興フォーラム 2023、国際防災・人道支援フォーラム 2023
講演会	5	阪神・淡路大震災 28 年メモリアル集会
防災学習	1 6	減災復興サイエンスカフェ、災害メモリアルアクション KOBE 2023
防災啓発	1 3	117KOBE ぼうさいマスタープロジェクト、イザ!美かえる大キャラバン! 2023
防災展示	3	震災 28 年・経験と教訓の継承・リメンバー神戸プロジェクト
防災訓練	3 5	情報伝達訓練、シェイクアウト訓練、1.17 防災訓練
コンサート	7	第 17 回震災を忘れないメモリアルコンサート、PRAY FROM KOBE ～明日につなげるコンサート～
計	9 9	

(2) 開催地域別一覧

神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	
5 5	9	1 1	5	4	
中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
4	5	1	2	3	9 9

(3) 主な事業

実施日	事業名	実施場所	実施主体
1月8日 (日)	1.17 防災未来賞「ぼうさい甲子園」表彰式・発表会/防災力強化県民運動ポスターコンクール表彰式	兵庫県公館 (関係者のみ) ※ライブ配信も実施	兵庫県、 毎日新聞社等
1月24日 (火)	国際防災・人道支援フォーラム 2023	神戸ポートピアホテル ※ライブ配信も実施	同フォーラム 実行委員会
1月27日 (金)	国際復興フォーラム 2023	神戸国際会議場 ※ライブ配信も実施	国際復興支援 プラットフォーム (IRP) 等

「減災月間」事業(全事業)

1 追悼行事(11事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	第28回兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)犠牲者追悼のつどい あなたの思いを灯してください ～失った命の数をロウソクの灯火に込めて～	R5.1.16 ～1.17	伊丹市昆陽池公園南広場	①ろうそくによる追悼行事 ・震災翌年より毎年実施している追悼行事。追悼ととも にいかにして生きるかという開催テーマをもうけ、命の 尊さ、減災への啓発、継承のテーマに沿ったメッセ ージをロウソクで絵にする ②パネル展示 ・ボランティア活動等の展示	ボランティア団体ユニー・ア イ・アソシエーション	阪神北
2	ひょうご安全の日のつどい	R5.1.17	HAT神戸ほか	震災の経験と教訓をいつまでも忘れることなく、安全・ 安心な社会づくりに向けて歩む決意を引き続き発信 ①1.17のつどい(追悼式典) ②地域のつどい	ひょうご安全の日推進県 民会議 (TEL:078-362-4354)	神戸
3	阪神淡路大震災1.17のつどい	R5.1.17	東遊園地 (神戸市)	・竹灯籠で「1.17」の文字を描き、参加者に灯りをともし てもらい、5時46分、17時46分に震災犠牲者に対して 黙祷 ・ボランティアや震災ご遺族、震災を経験していない若い 人たちが集い、震災経験を次世代に伝えていく語り 継ぎの場とする	阪神淡路大震災1.17の つどい実行委員会(NP O法人 阪神淡路大震災 1.17 希望の灯り) (TEL:050-3590-0117) <開催支援> 神戸市企画調整局参画 推進課 (TEL:078-322-6491)	神戸
4	追悼集会	R5.1.17前後	各神戸市立学校園	・追悼集会	各神戸市立学校園	神戸
5	1.17KOBEに灯りをinながた	R5.1.17	①鉄人広場 ②新長田駅前広場	・「1.17ながた」LED紙灯籠500個敷設 焼香台設置 ・防災の情報発信・ワークショップ・交流の場の提供 ・会場内パフォーマンス(太鼓演奏、コーラス) ・募金 ・防災学習、ろうそく作り、灯籠作りワークショップ ・FMわいわいの放送	1.17KOBEに灯りをinな がた実行委員会	神戸
6	神戸市震災28年追悼の集い	R5.1.17	東遊園地	・阪神・淡路大震災から28年を迎える令和5年1月17日 に、震災で亡くなられた方々を追悼するとともに、震災 で培われた「きずな・支え合う心」「やさしさ・思いやり」 の大切さを語り継いでいくため、神戸市震災追悼行事 を開催。	神戸市行財政局業務改 革課 (TEL:078-322-5062)	神戸

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
7	防災意識高揚のつどい	R5.1.17	復興拠点ゾーンコミュニティ住宅前広場	<ul style="list-style-type: none"> ・淡路市と連携した災害を想定した避難訓練 ・淡路市によるハザードマップの説明会 ・ひょうご防災特別推進員による防災講義 ・鎮魂灯としてキャンドルを設置し、黙祷 ・鎮魂イベントとしてハンドベル、ラッパ、和太鼓演奏 ・停電を想定した自家発電での炊き出し訓練の実施 	郡家地域交流広場推進委員会	淡路
8	阪神・淡路大震災犠牲者追悼行事	R5.1.17	西宮震災記念碑公園	<ul style="list-style-type: none"> ・献花の無料配布等(詳細未定) 	西宮市 秘書課 (TEL:0798-35-3437) (FAX:0798-22-7272)	阪神南
9	1.17芦屋市祈りと誓い	R5.1.17	「阪神・淡路大震災慰霊と復興のモニュメント」前 (芦屋市浜芦屋町「芦屋公園」内)	<p>阪神・淡路大震災から来年1月17日で28年を経過するにあたり、犠牲者を追悼するため「1.17芦屋市祈りと誓い」を執り行います。</p> <p>1 日 時 令和5年1月17日(火)＜雨天決行＞ 午前7時～午後5時</p> <p>2 場 所 「阪神・淡路大震災慰霊と復興のモニュメント」前 (芦屋市浜芦屋町「芦屋公園」内)</p> <p>3 内 容 記帳受付及び献花</p> <p>4 主 催 芦屋市</p>	芦屋市 福祉部生活援護課 (TEL:0797-38-2041)	阪神南
10	令和4年度阪神・淡路大震災宝塚市犠牲者慰霊事業 (献花・記帳所の設置)	R5.1.17	ゆずり葉緑地「鎮魂之碑」及び「追悼の碑」前 (宝塚市小林宇西山)	<p>阪神・淡路大震災犠牲者の御霊のやすらぎと遺族の幸せをお祈りするとともに、将来に大震災の教訓を伝え、安全で災害に強いまちづくりに尽くすことを誓う。遺族をはじめ宝塚市民、各種団体の方々に献花と記帳をいただく。</p>	宝塚市 秘書課 (TEL:0797-77-2060)	阪神北
11	犠牲者を追悼し震災をおもい起こす事業	R5.1.17 R5.3.11	神戸・心絆事務所横、名取市震災メモリアル公園内	<ul style="list-style-type: none"> ・犠牲者への鎮魂の祈りと復興への想いをこめて、竹灯籠に灯り(LEDローソク)を灯す ・兵庫から竹を送り、メンバーも現地へ行き、1月17日と同様に竹灯籠を並べ、ろうそくを浮かべ、なくなられた方々を参加された方々と一緒に風沈降し献花 	神戸・心絆	神戸

2 シンポジウム(9事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	関西学院大学災害復興制度研究所 2023年復興・減災フォーラム 「関東大震災100年 われわれに遺したもの～帝都復興と人間の復興」	R5.1.7-8	関西学院会館レセプションホール (兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号) ※ハイブリッド開催	<p><7日(土) 全国被災地交流集会 円卓カフェ> テーマ:「関東大震災100年、あらためて『復興』を語り合う」</p> <p><8日(日)シンポジウム> テーマ:「関東大震災100年 われわれに遺したもの～帝都復興と人間の復興」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別講演「今どこでも起きうる災害の復興を先人たちに学ぶ～賀川豊彦とその妻の関東大震災～」 玉岡かおる(作家) ・基調講演「歴史の陰翳と人間復興」 中島隆博(東京大学東洋文化研究所教授) ・パネル討論「関東大震災100年、あらためて『復興』概念を問い直す」 《パネリスト》 中島隆博(東京大学東洋文化研究所教授) 山中茂樹(関西学院大学災害復興制度研究所顧問) 杉浦秀典(賀川豊彦記念松沢資料館副館長・学芸員) 趙 寛子(ソウル大学日本研究所副教授) 《コーディネーター》 山 泰幸(関西学院大学災害復興制度研究所所長) 	関西学院大学 災害復興制度研究所 (TEL:0798-54-6996)	阪神南
2	神戸防災のつどい2023	R5.1.15	神戸市立中央区文化センター 神戸・三宮センター街1丁目	<ul style="list-style-type: none"> ・震災から学んだ多くの教訓を次世代に引き継ぎ、災害への備えるため、セミナーやワークショップ、ブース展示を行う。 	災害対策セミナー実行委員会	神戸
3	防災・減災シンポジウム(2023)「防災力向上を目指したまちづくりと防災技術」	R5.1.15	神戸市中央区文化センター	<ul style="list-style-type: none"> ○基調講演:「公園・グリーンインフラによるまちづくりと災害復興支援(仮)」 ～ 石巻市復興祈念公園の復興支援を通じて～ 講師 平田富士男氏(兵庫県立大学大学院 緑環境景观観マネジメント研究科 教授) ○話題提供:「ハザードマップの有効な活用方法と課題(仮)」 講師 田村浩敏氏(㈱建設技術研究所 東京本社 社会防災センター長(技術士)) ○話題提供:「専門家との連携による復興支援と事前防災活動(仮)」 講師 尾藤 寛氏(近畿災害対策まちづくり支援機構 事務局長(弁護士)) ○話題提供:「気象情報の情報発信について(仮)」 講師 發田あずさ氏((一財)日本気象協会(気象予報士、技術士)) <p>討論会: 講師、会場・オンライン参加者によるパネルディスカッション コーディネーター 森川勝仁氏(日本技術士会近畿本部 防災支援委員長(技術士))</p>	公益社団法人 日本技術士会近畿本部	神戸
4	国連アジア太平洋経済社会委員会 震災メモリアル・フォーラム「記憶を未来へ」	R5.1.15	御影公会堂 白鶴ホール	<p>1 「阪神・淡路大震災とはなんだったのか」 映像紹介・解説:中学生(神戸市立鷹匠中学校生徒会)</p> <p>パネルディスカッション: 神戸市立鷹匠中学校生徒会、水田和生京都産業大学名誉教授、国連アジア太平洋経済社会委員会 Aiko Akiyama社会問題担当官等</p> <p>2 世界の防災トレンド「インクルーシブ防災について」 国連アジア太平洋経済社会委員会 社会問題(インクルーシブ防災)担当官Aiko Akiyama</p> <p>3 震災メモリアル 朗読・語りとコーラス 金谷康佑、斎藤ともこ、杉田あきひろ、神戸市立鷹匠中学合唱部</p> <p>ホール内における展示: 国連アジア太平洋経済社会委員会によるインクルーシブ防災に関する取り組み</p>	国連アジア太平洋経済社会委員会 震災メモリアル・フォーラム「記憶を未来へ」 実行委員会	神戸
5	国際防災・人道支援フォーラム2023	R5.1.24	神戸ポートピアホテル 偕楽の間(本館地下1階)	<p>テーマ:“災害文化の継承”と“国難災害への備え” ～100年先の未来に向けて、国際防災・人道支援協議会(DRA)のめざすもの～</p>	国際防災・人道支援フォーラム実行委員会	神戸

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
6	国際復興フォーラム2023～より良い復興(Build Back Better)と長期的な復興の成果:強靱で持続可能な未来への目標～	R5.1.27	ライブストリーミングと会場(神戸国際会議場)参加によるハイブリッド形式	国内外からのハイレベル政策決定者や実務家、著名な専門家等により、「より良い復興」等について議論を実施 【実施内容】基調講演、専門家・有識者によるパネルディスカッション①②	国際復興支援プラットフォーム(IRP)、内閣府、兵庫県、アジア防災センター(ADRC)、国連防災機関(UNDRR)	神戸
7	2022年度災害と障害者のつどい 誰ひとり残さず	R5.1.29	神戸市男女共同参画センターアステックKOBÉ	講演 ○「医療・保健・福祉の連携(仮)」 神戸市看護大学 災害看護・国際看護学分野教授 神原 咲子先生 ○「特別支援学校での防災」 兵庫県教育委員会(未定) ○「特別支援学校アンケート」 人と防災未来センター 主任研究員 河田 慈人氏、正井 佐知氏 報告 ○「県内の自治体アンケート」 神戸大研究員 大西 一嘉氏	特定非営利活動法人兵庫障害者センター	神戸
8	World BOSAI Forum セッション 防災100年えほんプロジェクト・フォーラム in 仙台(仮称)	R5.3.11	仙台国際センター	2020年1月に神戸で開催した「2020世界災害語り継ぎフォーラム」において、河田恵昭 人と防災未来センター長が「災害文化を身に着けるための基本となる防災教育の具体的手法として防災絵本を創作し世界に発信すること」を提唱した。 そこで、絵本の力を借りて、世界中の子どもから大人までが「防災」の知識を知り、命を守る行動を身につけるための「防災100年えほんプロジェクト」が2022年にスタートした。このプロジェクトを広く国内外に広めるとともに、未来に届けたい物語とほどのようなものか、多くの人に愛読されるための条件、防災絵本に期待すること、世界の防災・減災に貢献するための仕組みなどを考えるフォーラムを開催する。	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター世界語り継ぎネットワーク(Tell-Net)	神戸
9	21世紀減災社会シンポジウム「関東大震災から100年～教訓を継承し、迫り来る大災害に活かす～」	R5.1.20	オンライン開催(撮影・配信場所:朝日新聞東京本社新館スタジオ(東京都中央区))	1923年9月に発生した関東大震災から100年となる節目を機に、迫り来る首都直下地震や南海トラフ地震などの巨大災害に備え、持続可能な減災社会を構築するための方策等について考える。 ・基調講演「関東大震災100年に、首都直下地震への対応を考える」(仮題) ・パネルディスカッション「持続可能な『減災社会』を目指して」 ・総括「関東大震災から学ぶこと～朝日新聞社所蔵の写真記録とともに」	(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構、東北大学災害科学国際研究所、朝日新聞社	神戸

3 講演会(5事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	十八回競基弘賞授賞式及び記念講演会災害レスキューロボットのデモ公開	R.5.1.13-17	①ふたば学舎(神戸市立地域人材支援センター) ②三宮センター街1丁目	レスキューロボット表彰式と記念講演会及びレスキューロボットの实演デモ(市民参加) ・「競基弘賞※」の授与式及び記念講演会 ・※阪神・淡路大震災で亡くなった若き研究者(当時神戸大大学院生)にちなんで設立された賞 ・受賞者による最新研究開発の内容・活動報告等、実災害の現場でどのように役に立つのかを交えた講演 ・授賞式では研究員自らが、震災時の様子を語り継ぐなど、震災の記憶の継承する	(特非)国際レスキューシステム研究機構	神戸
2	阪神・淡路大震災28年メモリアル集会	R5.1.17	長田区文化センター別館 ピフレホール	記念講演 テーマ「被災者支援制度の在り方」 講師 高林秀明熊本学園大学教授 阪神・淡路大震災28年の残された街づくり、被災者の現状等について報告	阪神・淡路大震災救援・復興兵庫県会議	神戸
3	第7回神戸国際大学地震・津波に向けた 防災減災セミナー	R5.1.8	神戸国際大学 ミカエルホール	1. 「阪神淡路大震災時の医療事情とその後の変化」 2. 「阪神大震災からの教訓と現在の災害医療」 3. パネルディスカッション	神戸国際大学防災救命クラブ(DIPLS)	神戸
4	第16回 防災を考える区民のつどい	R5.3.6	神戸市立灘区民ホール	「防災を考える区民のつどい」の開催 【第1部】灘防災の賞授賞式 地域防災に顕著な功績のあった地域団体、事業所、消防団員及び消防職員の表彰式を区民の前で行いその功績を称える。 【第2部】防災講演会 近年様々な災害が起こり、いつ自分が被災し避難する境遇になるかわからない。防災についてをより身近に考えてもらうために著名人を招き、聴講者目線のわかりやすい講演会を開催する。	神戸市灘防火安全協会	神戸
5	阪神・淡路大震災と多発する自然災害の検証作業と被災地間の交流事業	R5.3.21	神戸市長田区文化センター	①『検証 大震災28年と復興災害ー「借上公営住宅」強制退去策を問う』(VIII)を活用した研究・実践討論集会を開催 ②『検証 大震災28年と復興災害ー「借上公営住宅」強制退去策を問う』(VIII)を国内外のメディア、政府や国会、研究機関、NGO・NPO等に配布	兵庫県震災復興研究センター	神戸

4 防災学習(16事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	大切な人を守るための自主防災学習会/まち歩き親子防災マップづくり	R5.1.15	長尾地区福祉センター	「まち歩き家族防災ワークショップ」自治会員家族10組が、NPO法人講師、ファシリテータの指導のもと、上津台1丁目のまち歩き危険箇所発見を行う学習会。	上津台1丁目自治会	神戸
2	キッズ防災検定	R4.12.1～ R5.3.31	兵庫県下の小学校	小学生対象の防災検定 ・阪神・淡路大震災の経験と教訓を活かし、日々の生活の中で、防災に対する意識を楽しみながら高めることが出来る防災検定を実施 ・県下の小学校に告知し、申し込み校に問題と解答を郵送、合格者には認定証を発行	特定非営利活動法人検定協議会	神戸
3	災害メモリアルアクション KOBE 2023	R5.1.7	人と防災未来センター西館1階ガイダンスルーム	・学生・生徒による活動発表 ・「創る」をテーマにした学生・生徒によるパネルディスカッション	公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター、 京都大学防災研究所	神戸
4	日本DMAT隊員養成研修	R5.1.11-1.14 および R5.2.8-2.11	兵庫県災害医療センター 三木市広域防災センター 等	大規模災害時に被災地に迅速に駆けつけ、災害医療対応を行うための隊員を養成する。	兵庫県災害医療センター 事業課 (TEL:078-241-3131)	神戸
5	1.17震災メモリアル行事「阪神・淡路大震災を忘れない～21世紀を担う私たちの使命～」兼 ひょうごニュース防災・減災ワークショップ	R5.1.13	兵庫県立舞子高等学校	第1部 追悼演奏・シンポジウム 演奏: asari(シンガーソングライター) 登壇者: 齋藤 幸男(宮城県石巻西高等学校元校長) 雁部那由多(東北学院大学) 第2部 分科会 第3部 見学・体験 グラウンドの展示(*自衛隊災害対応装備等) 見学と、教室での防災食配布 第4部 ワークショップ ファシリテーター: 齋藤 幸男、雁部那由多	ひょうごニュース防災・減災 ワークショップ実行委員 会	神戸
6	1.17と3.11の犠牲者を追悼し被災者同士や災害ボランティアの学習会	R5.1.16-3.13	神戸市立中央区文化センター会議室 名取市関上中央自治会館 神戸東遊園地 ハット神戸 名取市関上地区	・兵庫県・神戸市の1.17および宮城県名取市関上での追悼式への参加 ・1.17追悼式への参加と東日本大震災の被災者との報告会・学習会の開催 宮城県名取市関上の被災者と被災地へボランティア活動に入った兵庫のボランティアとの11年間の被災地支援活動報告会・学習会	全国災害ボランティア支援機構	神戸
7	加古川市職員防災研修会	R5.1.17	市役所本庁舎	「防災講話」 職員の防災意識向上を目的とした研修会 ※講師については、災害伝承プロジェクト語り部から派遣	加古川市防災部防災対策課 (TEL:079-427-9717)	東播磨
8	「ひょうご安全の日」丹波地域のつどい	R5.1.17	丹波市立春日部小学校	・「ひょうご安全の日宣言」宣誓 ・防災講話 ・防災学習 ①防災クイズ ②地震体験車訓練 ③自衛隊車両の見学等 ④警察車両の見学 ⑤水消火器・煙道体験 ⑥ドローン操縦、消防車両等展示	丹波県民局総務防災課 丹波市 (TEL:0795-82-0250) ほか	丹波
9	減災復興サイエンスカフェ	R5.1.17	神戸防災キャンパス内・人と防災未来センター東館・4階大会議室	減災の視点から被害軽減を図る上で効果の大きいとされる建物の地震時挙動をシミュレーションにより明らかにしその結果を可視化する講義を行う。	兵庫県立大学大学院・減災復興政策研究科 (TEL078-891-7376)	神戸

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
10	全校集会 防災講話	R5.1.10	西宮市立西宮東高等学校	【防災講話】 ・「あの日を忘れない」	西宮市立西宮東高等学校	阪神南
11	こころ豊かな人づくり神戸500人委員会「500人鍋」と「防災学習」	R5.1.17	ハット神戸 なぎさ公園	・「防災学習ゲーム」……(有料 ゲーム他 @100-) ・こころ豊かな人づくり神戸500人委員会の活動状況のPR パネル掲示 28年前の阪神淡路大震災で体験したことを「備え」「活かし」「伝える」非常時における防災意識の啓発活動取り組んでいく。	こころ豊かな人づくり神戸500人委員会	神戸
12	防災給食	R5.1.17	市内小中学校	・アルファ化米の使用 ・炊き出し献立の体験 ・おにぎり作り(食の自立に向けた技術を身につける) ・常温で長期保存可能な乾物や缶詰の使用	宝塚市 学校給食課 (TEL:0797-77-2039)	阪神北
13	「1.17」メモリアルデーに係る防災教育	R5.1.17ほか	豊岡市内の保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校	・追悼集会 ・防災避難訓練 ・防災授業	豊岡市こども教育課 (TEL:0796-23-1452)	但馬
14	ジュニア・地域防災スクール	R.5.1.22 R.5.1.29	明石氏大久保市民センター、加古川市防災センター	小学3, 4年生を対象に、命を守る知識と行動と養ってもらうために、ゲームを盛り込んだ防災研修と、被災時に身近なものを活用して命を守ることや、環境を改善する訓練を行う。 また、防災センターの地震体験や煙体験、消火器操作も体験する。	NPO法人兵庫県防災士会	神戸
15	令和4年度三木市自主防災組織育成研修会	R5.1.29	三木市文化会館小ホール	・自主防災組織を対象に防災講話 「災害大国日本 過去の災害から学ぶ」	三木市 総合政策部危機管理課 (TEL:0794-82-2000)	北播磨
16	おやこでBOUSAI<防災>inNADA2023～子どもの命を守るために～	R5.2.1-2.23	灘区民ホール	おやこでBOUSAI<防災>inNADAの開催 (無料) 子どもから大人まで楽しく防災を学べるイベント 日時:2月1日(水)～23日(祝・木) 会場:神戸市立灘区民ホール 5Fホール ・クイズラリー 【事前】2月1日(水)～22日(水) [当日]2月23日(祝・木) ・BOUSAI人形劇「カンカン棟のみはりぼん」 ・防災絵本「5さいのぼうさい」絵本読み聞かせ・ぼうさいぬりえ ・BOUSAIかみしばい ・持ち出し品クイズ ・避難所体験コーナー ・BOUSAIキッズコーナー(きけんはっけんゲーム、マイ避難カードなど) ・都賀川の水害を伝えるコーナー	なだっこプロジェクト実行委員会	神戸

5 防災啓発(13事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	117KOBEBぼうさいマスタープロジェクト	R4.4.1-R5.3.31	神戸新聞社本社会議室	若い世代への防災・減災活動普及プロジェクト ・ぼうさい出前授業・ワークショップの実施 ・ぼうさいWEB検定の実施 ・117KOBEBぼうさいマスター育成のための市民救命士講習の実施 ・NPO、企業等との連携・協業による「ぼうさいワークショップ」の実施 ・避難所体験の実施 ・有識者、語り部による震災学習 ・ぼうさい国体への参加協力 ・被災地へのボランティア活動の実施	117KOBEBぼうさいマスター育成会議	神戸
2	コットン・チルドレン__ラボ	R5.1.15 R5.2.25	豊富小中学校、旭陽小学校	○防災士、ひょうご防災特別推進員による勉強会 ・テーマ「家にある古い布をつかって、防災用品をつくらう」※政策動画をyoutubeにて放映 ○防災士、ひょうご防災特別推進員、姫路木綿復活の会による発表会 ・テーマ「防災用品を使って、避難訓練のプログラムを考えよう」	姫路防災ラボ&スタディ	中播磨
3	「阪神大震災を記録しつづける会」の25年間の活動とその考察をまとめた書籍出版を通じた防災・減災の教訓	R4.4.1-R5.3.5	zoom(感染状況によっては兵庫県民会館、書店)	記録誌の出版及びブックイベントの開催 ・団体の25年の活動をまとめた記録誌の出版 ・発刊に伴うブックイベントの開催(zoom等で開催)	阪神大震災を記録しつづける会	神戸
4	防災市民サミット2022& 防災ガイドブックVOL.8	R5.1.1~ R5.3.31	—	防災ガイドブック 学校、職場、地域で取り組める民間の防災教育、防災事業を紹介した印刷物の製作と頒布	特定非営利活動法人ユニバーサル・スポーツ振興協会	神戸
5	1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」表彰式	R5.1.8	兵庫県公館	阪神・淡路大震災の経験と教訓を通して学んだ自然の脅威や生命の尊さ、共に生きることの大切さを考える「防災教育」を推進するため、児童・生徒・学生が学校や地域において主体的に取り組む先進的な防災活動を募集している。 令和4年度に応募のあった取り組みを対象に審査を行い、顕彰された学校・団体の表彰と発表会を実施する。	兵庫県・毎日新聞社・公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター (問い合わせ) ぼうさい甲子園事務局 (TEL:0798-23-3215)	神戸
6	1.17震災メモリアル市民の集い2022& 上映会	R5.1.14	尼崎市立中央北生涯学習プラザホール	1.17追悼・メモリアル市民の集い& 出前上映会 上映DVD 「レンズが泣いた日々」震災から10年の歩み 震災パネル展示 合唱 「上を向いて歩こう」	「1.17を忘れない心の輪ネットワーク」実行委員会	阪神南
7	「ひょうご安全の日」淡路地域のつどい	R5.1.17	北淡震災記念公園	<追悼行事> ・犠牲者への黙祷 ・主催者、遺族代表等による献花 ・ひょうご安全の日宣言の読み上げ	淡路県民局総務防災課 (TEL:0799-26-2012) 淡路市 株式会社ほくだん	淡路
8	「ぼうさい動画教材づくり」教訓・学びを未来の備えにつなぐへ」	R5.1.8~2.28	兵庫県公館、兵庫県民会館、さくらネット事務所	・1.17未来賞「ぼうさい甲子園」実践報告を動画教材とする (1)企画調整会議の開催(zoom会議) (2)式典後日の教材編集(委託) ・1.17未来賞「ぼうさい甲子園」関係者交流・撮影会の実施 (1)受賞者の交流の機会を運営 (2)受賞者へのインタビュー撮影 (3)式典後日に教材を編集 ・「教訓・学びを未来のそなえにつなぐ」 (1)オンライン研修の開催 (2)法人のHP等の活用による教材活用の促進	特定非営利活動法人さくらネット	阪神南
9	イザ！美かえる大キャラバン！2023	R5.1.29	JICA関西、人と防災未来センター	「防災・国際・アート」をキーワードに、HAT神戸エリアの関係機関が連携し、阪神・淡路大震災の教訓から生まれた「イザ！カエルキャラバン！」をベースに、防災教育に取り組む行政機関やNPOなどが一同に集結して、防災を楽しく学べる体験プログラムを提供する。	(共催) JICA関西／人と防災未来センター／兵庫県立美術館／兵庫県国際交流協会 (問い合わせ) JICA関西・国際防災研修センター (TEL: 078-261-0386)	神戸

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
10	地区防災計画及びマイ避難カード作成支援講座	R5.1	たつの市役所	大学の先生を招聘し、自主防災組織対象とした地区防災計画及びマイ避難カード作成支援講座を実施。	たつの市 危機管理課 (TEL:0791-64-3219)	西播磨
11	丹波市防災施策等PR業務(くらしの安全ニュース)	R5.1	FM805たんば(NPO法人たんばコミュニティネットワーク)	阪神淡路大震災の教訓と、それを踏まえた防災対策についてFM放送を行う。	丹波市くらしの安全課 (0795-82-0250)	丹波
12	防災クッキング講習会	R5.2.11	兵庫県立神戸生活創造センター 家庭科室	災害が起こったとき、水道・ガス・電気が使えないその時にどのようなことができるかを学ぶ	神戸市子ども会連合会 育成部	神戸
13	負けない 忘れない3.11—ここから生まれる未来びっくり箱 Part.12	R5.3.5	宝塚市立文化施設ソリオホール	震災シンポジウム ホール公演 伝統芸能 劇・ワークショップ コンサート 小会場公演(人形劇、影絵) 震災写真パネルの展示	「みんな元気になろう・びっくり箱」実行委員会	阪神北

6 防災展示(3事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	震災28年・経験と教訓の継承リメンバー神戸プロジェクト	R5.1.20-22	神戸音楽センター会館	②震災継承「震災の記憶・神戸の壁歌展」 ・阪神・淡路大震災28年メモリアル大うたう会共催 神戸音楽センター会館2023.1.20～.22 展示:神戸の壁歌15曲、震災継承活動記録パネル33枚 1.22 メモリアル大うたう会で神戸市役所センター合唱団を中心に神戸の壁歌3曲合唱	リメンバー神戸プロジェクト	神戸
2	[災害にもっと強い世界をめざして]	R4.12.14 -R5.3.14	JICA関西1F展示室	<パネル展示> ・災害についての基礎情報の紹介。 ・日本での取り組み、開発途上国への防災に関する取り組みを紹介。 <立体小パネル> ・地震が起きるとどうなるのかを学べる。(地震発生時にすべき行動を紹介。) ・図を用いたパネルから地震が起きた後の対処法を学べる。(地震発生後、他者との協力の大切さを紹介。)	JICA関西 総務課 (TEL: 078-261-0346)	神戸
3	第13回全国学生防災書道展	R5.2.15-17	兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー	全国防災書道展の開催 ・防災救命や復興支援、自然災害に関わる文言や表現を題材にした書を各県教育委員会を通じて、全国から公募 ・優秀な防災書道作品約650点を選考し、展示 ・文部科学大臣賞、復興大臣賞、県知事賞など賞を設け、表彰式を行う	全国学生防災書道展実行委員会	神戸

7 防災訓練(35事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	神戸市北区防災訓練	R5.1.14	神戸市立泉台小学校 校庭及び体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・消火訓練 ・応急措置訓練 ・緊急搬送訓練 ・車いす搬送訓練 ・避難所運営訓練 	神戸市北区まちづくり課 (TEL:078-593-1111)	神戸
2	垂水区総合防災訓練(STEP)	R5.1.15	神戸市立舞多聞小学校及び学園南公園	<ul style="list-style-type: none"> ・救助隊体験、水消火器訓練 ・防災絵本読み聞かせ ・消防車両・警察車両展示 ・地震体験車(ゆれるん) ・災害AR・VR体験 ・外部給電設備・次世代自動車展示 ・ドローンデモ 	神戸市垂水区まちづくり課 (TEL:078-708-5151) 神戸市危機管理室 (TEL:078-322-6456)	神戸
3	川西市防災訓練	R5.1.11	川西市役所本庁舎	<p>勤務時間中に川西市内で震度6弱の地震を観測し、発災から6時間以内に市が取り組む『災害応急対策業務』に重点を置き、ロールプレイング型の図上訓練を実施する。(一部、実働訓練を実施)</p> <p>【訓練内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害事案対応訓練(災害情報処理システム使用) ・災害対策本部会議訓練 ・避難所開設対応訓練(物資搬送訓練含む) ・情報伝達訓練 	川西市 総務部危機管理課 (TEL 072-740-1145)	阪神北
4	令和4年度伊丹市総合防災訓練	R5.1.14	伊丹市立伊丹スポーツセンター他	<p>主な訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスに対応した避難所開設・運営訓練 ・救出・救助・搬送訓練 <p>その他、各種防災訓練を実施</p>	伊丹市 危機管理室 (TEL:072-784-8166)	阪神北
5	1.17 たからづかシェイクアウト一斉訓練	R5.1.17	各自	緊急速報メール(エリアメール)、安心メール、エフエム宝塚、コスモキャストなどで訓練開始の合図を放送・配信し、各自で机の下やカバンなどで頭を守るなど訓練の実施を行う	宝塚市 総合防災課 (TEL:0797-77-2078)	阪神北
6	シェイクアウト訓練	R5.1.17	明石市内全域	頭を守る安全行動の確認訓練	明石市 総合安全対策室 (TEL078-918-5069)	東播磨
7	災害時職員対応訓練	R5.1.17	市役所本庁舎など	<ul style="list-style-type: none"> ・職員参集確認訓練 ・災害対策本部設置訓練 ・避難所開設訓練 <p>大規模災害発生時における初動時の情報収集、連絡、報告体制の確立並びに本部長との迅速かつ正確な情報共有、連携を図ることを目的に実施し、職員の災害対応力の向上並びに防災意識の高揚を目指す。</p>	加古川市防災部防災対策課 (TEL:079-427-9717)	東播磨
8	職員防災訓練	R5.1.17	稲美町役場	職員伝達訓練	稲美町 危機管理課 (TEL:079-492-9168)	東播磨
9	蓮池小学校防災訓練	R5.1.17	播磨町立蓮池小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急地震速報を活用した行動訓練 ・避難訓練 ・救急救出訓練 	播磨町 危機管理課 (TEL:079-435-0991)	東播磨
10	協定締結自治体との情報伝達訓練	R5.1.17(予定)	加東市役所庁舎	京都府宇治田原町との災害時を想定した情報伝達訓練	加東市 総務財政部防災課 (TEL:0795-43-0403)	北播磨
11	防災避難訓練(地震)	R5.1.17	県立姫路しらさぎ特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急地震速報の音声流すことで音声に慣れ、地震に備えた対応を取る。 ・校内放送での避難指示の下、危険な経路を避け、慌てずに避難する。 ・職員は各自の役割を理解して、適切な行動を取る。 ・過去の地震から命を守る行動を学ぶ。 	県立姫路しらさぎ特別支援学校 (TEL:079-295-2200)	中播磨

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
12	防災訓練を通じて未来に託す子どもたちに伝える大人の役割 ・阪神・淡路大震災復興祈念とんどまつりを通じて安全・安心な街づくり ・災害時活用地域版防災マニュアルによる防災訓練 ・地域力アップによる災害要援護者への避難誘導体制の構築	R5.1.17	神戸市北区 大原山公園グラウンド	・消火訓練 ①子ども達による消火活動(バケツリレー) ②炊き出し訓練 ・防災福祉コミュニティ・中学生ボランティアによる炊き出し訓練	特定非営利活動法人 大原・桂木OKサポート	神戸
13	～1.17は忘れない～北甲子園口地区防災訓練	R5.1.17	西宮松並公園、北甲子園口市民館	1. 初期消火訓練:水消火器により消火器の操作方法を取得 2. 搬送訓練:自主防災会の担架及び応急の毛布担架により負傷者の搬送要領を取 3. 日常の応急措置訓練:日常起こりやすい病気やケガの応急手当方法を取得 4. AED操作訓練:訓練用のAEDと人形を使って救命方法を取得 5. 防災資機材取り扱い訓練:可搬式ポンプ、発電機など各種防災資機材の操作方法を取得 6. 放水訓練:消防署のポンプ車及び可搬式ポンプによる放水訓練と見学 7. 炊き出し訓練:災害を想定した炊き出しを行う。	北甲子園口連合町内会 自主防災グループ	阪神南
14	ひょうご安全の日のつどい(防災訓練)	R5.1.17	HAT神戸	防災訓練:救護所設営・運営及び応急処置 救護訓練:三角巾を使った応急処置の実践訓練	兵庫県看護協会	神戸
15	避難訓練(株式会社サンテレビジョン)	R5.1.17	社屋から大倉山公園	情報共有訓練と避難訓練を実施	神戸駅前JUSTスクエア管理組合	神戸
16	KOBEそなえとう?1.17	R5.1.17	-	(シェイクアウト訓練) ・「ひょうご防災ネット」の登録者に、メールなどで地震発生の情報発信を行い、その場で、3つの安全行動(まず低く、頭を守り、動かさない)をとるよう呼びかける。 (気軽にできる防災活動) ・ハザードマップや緊急避難場所の確認や、備蓄物資や家具の転倒防止対策など家庭内での備えについて啓発を行う。 (1.17Treasures) ・阪神・淡路大震災を経て「よくなったこと」、「変化したこと」、「生まれたもの」など未来へ継承したい“宝物”や、防災に関する「こういうものがあつたらいいな」などの防災の“未来”について、LINEの災害共有訓練システムへの投稿を呼びかける。	神戸市危機管理室 (TEL:078-322-6232)	神戸
17	1.17は忘れない地域防災訓練	R5.1.17	(メイン会場) 尼崎市立中央中学校 (地区会場) 小田北中学校 大庄北中学校 塚口中学校 武庫東中学校 園田東中学校	(防災訓練) ・避難所開設・運営訓練 ・要配慮者支援訓練 ・災害対応応急実技訓練	尼崎市 尼崎市教育委員会 (TEL:06-6489-6165) (FAX:06-6489-6166)	阪神南
18	職員参集訓練(及び初動要員訓練)	R5.1.17(予定)	姫路市役所	・早朝の発災を想定して、公共交通機関を利用せず、職員の参集の訓練を行う。 ・参集後、本部班初動要員の災害対策本部の立ち上げ等の訓練を行う。	姫路市危機管理室 (TEL:079-223-9588)	中播磨
19	1.17情報伝達訓練	R5.1.17	危機管理室執務室など	・防災行政無線、ひめじ防災ネット、姫路ケーブルテレビ、FMGenki、Twitter、Yahoo!防災速報による啓発文の発信 ・衛星電話・FAX、IP無線機、ホットライン電話等を用いた連絡訓練	姫路市危機管理室 (TEL:079-223-9588)	中播磨
20	職員情報伝達訓練	R5.1.17	たつの市役所	災害時初動対応訓練として応答、安否確認の情報伝達訓練を実施	たつの市 危機管理課 (TEL:0791-64-3219)	西播磨
21	職員災害対応訓練	R5.1.17	佐用町役場本庁第1庁舎西館防災会議室	人と防災未来センター研究プロジェクトの一環 ・災害対応状況予測型訓練(試験実施)	佐用町企画防災課 (TEL0790-82-0664)	西播磨

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
22	防災意識高揚のつどい	R5.1.17	復興拠点ゾーンコミュニティ住宅前広場	<ul style="list-style-type: none"> ・災害を想定した避難訓練 ・ひょうご防災特別推進員による防災講義 ・鎮魂灯としてキャンドルを設置し、黙祷 ・鎮魂イベントとしてハンドベル、ラッパ、和太鼓演奏 ・停電を想定した自家発電での炊き出し訓練の実施 	郡家地域交流広場推進委員会 (TEL:0799-85-0228)	淡路
23	協定締結自治体との情報伝達訓練	R5.1.17 (予定)	加東市役所庁舎	京都府宇治田原町との災害時を想定した情報伝達訓練	加東市 総務財政部防災課 (TEL:0795-43-0403)	北播磨
24	六甲アイランドCITYコミュニティ安全マップ刷新 住民の防災意識向上へ	R5.1.17 R5.2.18	六甲アイランドCITY内各マンション RICふれあい会館	<ul style="list-style-type: none"> ・各マンションにて災害対策本部設置訓練および全戸一斉安否確認訓練、その際に「2022年度版コミュニティ安全マップ」と、海拔・六甲アイランドの防災知識を問うクイズ票を全戸配布。 ・クイズ表を使ったお楽しみイベントを実施 ・講演会:神戸市港湾局担当部署「神戸港における津波・高潮対策、および六甲アイランドにおける備え」 	六甲アイランドCITY防災福祉コミュニティ	神戸
25	南須磨公民館避難訓練	R5.1.19	南須磨公民館	<ul style="list-style-type: none"> (避難訓練) ・火災発生を想定した通報訓練 ・初期消火訓練 ・利用者を近くのとかり南公園に避難誘導訓練 ・講評、防災講話 	神戸市立南須磨公民館 (TEL:078-735-2770)	神戸
26	神戸市北区における災害警備訓練	R5.1.22	神戸市北区有野町	大規模地震を想定した救出救助訓練等	兵庫県警察本部警備部 災害対策課	神戸
27	令和4年度兵庫県警察総合災害警備訓練	R5.1.24	兵庫県三木市志染町	大規模災害の発生時において、警察各部隊の災害対処能力の向上と防災関係機関との連携強化を図る	兵庫県警察本部警備部 災害対策課	神戸
28	松が丘小学校区防災訓練	R5.1.21	三田市立松が丘小学校校庭・体育館	<ol style="list-style-type: none"> ①安否確認(コロナ対応受付) ②初期消火訓練(水消火器放水) ③煙体感訓練 ④心肺蘇生&AED体験 ⑤簡易トイレ・ダンボールベット・テントの組み立て ⑥防災倉庫説明 ⑦炊き出し訓練 	松が丘小学校区まちづくり協議会	阪神北
29	地域自主防災訓練	R5.1.21	すずかけ台コミュニティハウス	<ol style="list-style-type: none"> ①自治会員各家庭玄関に安否確認カード掲出 ②各班長が安否確認カード掲出状況確認 ③避難行動要支援者を想定した車椅子による避難経路確認訓練 ④防災に関する講和 ⑤心肺蘇生・AED取扱い訓練 ⑥段ボールベット・簡易トイレ展示訓練 ⑦エンジンチェーンソー訓練及び防災倉庫の見学(救急箱の在中品の確認) ⑧応急担架訓練 ⑨初期消火訓練(水消火器) ⑩炊き出し及び物資配給訓練(コロナ禍のため試食せず持ち帰り) 	三田市すずかけ台自治会	阪神北

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
30	令和5年(第25回)東灘市民放水大会	R5.1.29	住吉川河川敷	(1) 第1部 式典 ・震災犠牲者への黙祷 ・来賓紹介 ・副市長あいさつ ・市会議員祝辞 ・参加団体代表者による「安全宣言」 (2) 第2部 訓練 ・東灘消防団による小型動力ポンプ操法訓練披露 ・一斉放水(東灘区民) ・炊き出し訓練	東灘市民放水大会実行委員会	神戸
31	避難訓練	R5.1月～2月	各神戸市立学校園	・避難訓練	各神戸市立学校園	神戸
32	地区連携防災訓練	R5.2.18	たつの市立小宅小学校(運動場、屋内運動場)	小宅小学校区の連合自治会を対象に防災訓練を実施	たつの市 危機管理課 (TEL:0791-64-3219)	西播磨
33	職員情報伝達訓練	R5.3.10	たつの市役所	災害時初動対応訓練として応答、安否確認の情報伝達訓練を実施する	たつの市 危機管理課 (TEL:0791-64-3219)	西播磨
34	狭間が丘「防災の輪」推進事業	R5.3.11	狭間丘中学校、狭間が丘コメン、地域内6災害自治区拠点	1. 狭間が丘地域防災訓練 ①一次避難所の設営及び運営訓練(各地区選出の地域防災隊及び連合自治会役員) ②各災害地区拠点の運営訓練(各地区自主防災会メンバー)及び①②連携の訓練。②地域の「無事フラッグ・無事プレート」を使用した安否確認の状況を無線機で①の地域防災組織本部へ伝達、集計され狭間が丘各地区の災害状況の確認をする訓練。訓練に関する企画・全体運営は狭間が丘連合自治会・防災委員会が担当する。 2. ①②の地区の防災マニュアルの作成。整備。	狭間が丘連合自治会	阪神北
35	協定締結自治体との情報伝達訓練	R5.3.11 (予定)	加東市役所庁舎	京都府宇治田原町との災害時を想定した情報伝達訓練	加東市 総務財政部防災課 (TEL:0795-43-0403)	北播磨

8 コンサート(7事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	第17回震災を忘れないメモリアルコンサート	R5.1.14	いたみホール 中ホール	メモリアルコンサートの開催 ・阪神・淡路大震災を忘れず、メモリアルの思いを来場者と共有する。 ・出演団体・出演者と共に防災や助け合いの精神をつなぐためのイベントを実施。 ・ひょうご防災特別推進員による講話	特定非営利活動法人ええうた工房	阪神北
2	PRAY FROM KOBE 2023～明日につなげるコンサート	R5.1.22 R5.3.11	神戸文化ホール大ホール 元町1番街商店街	追悼コンサートおよびシンポジウムの開催 ・メインコンサート 公募による合同演奏(オールエイジ) 宮城県合唱連盟ステージ・シンポジウム(11年が経過したまちの不復興の様子や防災に関するシンポジウムを開催) ・街頭コンサート 公募合唱団による街頭コンサートの開催	兵庫県合唱連盟	神戸
3	阪神・淡路大震災復興28周年 新春邦楽コンサート	R5.1.15	芦屋市民センター(ルナホール)	追悼コンサートの開催 ・芦屋三曲協会(箏、三絃、尺八)が中心となり追悼曲・邦楽曲を演奏 ・1.17ひょうご安全の日宣言の配付、開会の挨拶で事業趣旨を説明、防災・減災関係のPRチラシを配布 ・震災遺児奨学金義援の募金活動	新春邦楽コンサート実行委員会	阪神南
4	1000人の歌声を響かせる1.17震災祈念コンサート	R5.1.15	神戸常盤アリーナ(兵庫県立文化体育館)	追悼コンサートの開催 ・参加型のコンサート 一般シンガーとゴスペルグループ(human note)、そのリーダー寺尾仁志、ゲストシンガーがともに舞台上に立ち、一つの歌声をつくりあげ、阪神淡路大震災で亡くなられた方の鎮魂へ歌とメッセージを届ける。 震災から28年経過した現在も風化することなく、より強い一歩を踏み出していく為の力と学びを得られるコンサート	阪神淡路大震災メモリアルコンサート実行委員会	神戸
5	ひょうご安全の日推進事業 第41回記念アルカディアイースターコンサート 追悼の祈りと希望のコンサート	R5.3.31	兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール	追悼コンサートの開催 ・曲目「アヴェ・マリア」ほか ・主催者の挨拶の際、震災の教訓の呼びかけや追悼の言葉を述べる ・東日本大震災の県内被災者や被災地域在住の視覚障害者を招待 ・ひょうご防災アクションの無料配布を行う	公益財団法人アルカディア音楽芸術財団	神戸
6	1.17鎮魂と語り継ぐために第23回特別演奏会	R5.1.21	神戸新聞松方ホール	追悼コンサートの開催 ・「神戸21世紀混声合唱団」と関西を代表するオーケストラ「アンサンブル神戸」による演奏でオーストリアの作曲家F.v.スッペのレクイエム他を演奏 管弦楽 アンサンブル神戸 神戸21世紀混声合唱団 ソプラノ 松原みなみ アルト ナムユカ テノール 西影星二 バリトン 高橋純 指揮 矢野正浩 ・ホールロビーにて神戸大学名誉教授、田結庄良昭氏による堤防決壊による水害に対する防災対策のレクチャーを実施。	公益社団法人アンサンブル神戸	神戸
7	1.17は忘れない～第20回アスタスティールパンコンサート2023	R5.3.13	神戸市長田区文化センター別館ビブレホール 大ホール	防災支援と復興支援のコンサートの開催 ・復興事業の一環として誕生した地元新長田市民スティールオーケストラ「Fantastics」による演奏及び過去の被災地支援の紹介。 ・アスタ新長田スティールパン振興会が運営するスティールパンスクールの受講生約70人による演奏。 ・「しあわせ運べるように」を歌唱+スティールパンアレンジで演奏、震災の記憶の風化を防止する。 ・その他:防災啓発を目的に防災行事の案内チラシや非常持ち出し品リスト、地元長田の防災に関する資料を参加者に配布する。	アスタ新長田スティールパン振興会	神戸

“災害文化の継承”と “国難災害への備え”

～100年先の未来に向けて、国際防災・人道支援協議会(DRA)のめざすもの～

国際防災・人道支援協議会(DRA)設立20周年記念

国際防災・人道支援フォーラム 2023

私たちは、阪神・淡路大震災、東日本大震災などの巨大災害の経験も踏まえ、次の100年に向けて、防災を「文化」として根づかせていくために何をすべきなのか。

大都市直下型地震、南海トラフ巨大地震などの大規模災害のリスクが高まるなか、国民、行政、企業など、全ての当事者が一体となって、国難災害にいかに対応していくべきなのか。

2023年は、折しも関東大震災から100年の節目の年にあたります。国際防災・人道支援協議会(DRA)の20年を土台として、これからの100年に向けて、災害文化を継承し、国難災害に備えるため、私たちがめざすべき方向性について考えます。

日時

令和5年(2023)年

1月24日(火) 13:30～17:00

場所

神戸ポートピアホテル「偕楽の間」

神戸市中央区港島中町6丁目10-1
※ポートライナー「市民広場」駅下車すぐ

(日英同時通訳) ※「YouTube」配信も実施予定

プログラム(予定)(敬称略)

基調講演/総括

「人と防災未来センターの20年と新たな挑戦」

河田 恵昭

国際防災・人道支援フォーラム
実行委員会委員長、
人と防災未来センター長



特別講演

「トルコからの報告(仮題)」

エミン・
オズダマル

ひょうごトルコ友愛基金
理事



「国難災害への備え(仮題)」

林 春男

国立研究開発法人
防災科学技術研究所
理事長



パネルディスカッション「文化的防災事業によって国際防災をすすめる」

《ファシリテーター》河田 恵昭 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会委員長、人と防災未来センター長

《パネリスト》エミン・オズダマル ひょうごトルコ友愛基金 理事 林 春男 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長
小林 郁雄 まちづくり株式会社 コー・プラン アドバイザ 木村 出 国際協力機構(JICA) 関西センター 所長

参加
方法

(無料)

①会場での参加をご希望される場合

人と防災未来センターホームページからお申し込みください。
<https://www.dri.ne.jp/pickup/forum/forum2023/entry/>

※定員(100人)に達し次第、募集を締め切ります。

(注) 新型コロナウイルスの感染拡大など、やむを得ない事情が生じた場合には、開催形式の変更、代理講師起用等、臨時的措置を取ることがございます。



会場参加申込フォーム

②YouTubeでの視聴をご希望される場合

当日、人と防災未来センターホームページから、YouTubeでの同時配信をご覧いただくことができます(事前申込不要)。

※詳細については、人と防災未来センターのホームページよりお知らせします。

人と防災未来センターのホームページ <https://www.dri.ne.jp/>

主催 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会

兵庫県、人と防災未来センター、アジア防災センター(ADRC)、国際協力機構(JICA) 関西センター、兵庫県国際交流協会(HIA)、ひょうご震災記念21世紀研究機構(Hem21)、国際防災・人道支援協議会(DRA)

問合せ先 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会事務局

(人と防災未来センター普及課内)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 西館 6 階

後援 朝日新聞社、神戸新聞社

電話: 078-262-5066 FAX: 078-262-5082



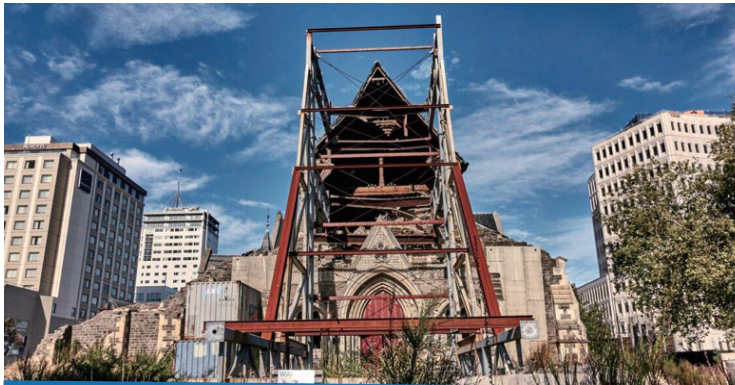
2023
JANUARY **27**
13:00-17:30

オンライン生配信
及び
神戸国際会議場



International Recovery Forum 2023

国際復興フォーラム2023



より良い復興 (Build Back Better) と長期的な復興の成果：
強靱で持続可能な未来への目標

Building Back Better and Long-Term Recovery Outcomes:
Aspirations for a Resilient, Sustainable Future



パネルディスカッション1: 大規模災害からの長期的復興経験からの教訓

パネルディスカッション2: より良い長期的な復興成果を確保するための優良プラクティスと革新



ORGANIZERS:

国際復興支援プラットフォーム (IRP)、内閣府、兵庫県、
アジア防災センター (ADRC)、国連防災機関 (UNDRR)



SUPPORTED BY:

外務省 (予定)
NHK神戸放送局

参加申し込み方法は、こちらの2次元バーコードを
読み込むか、以下のリンクにアクセスし、
登録フォームにご記入ください。
申し込み先ウェブサイト: <https://qrco.de/bdWpEJ>



IRP Steering Committee Members





BACKGROUND:

仙台防災枠組実施の中間点において、被災国は、より良い復興の実践において、また改善された復興成果を達成するために多大な困難に直面し続けています。災害復興は、防災分野において最も研究がされていない分野のひとつであり、長期的な縦断研究はほとんど行われていません。短期の復興プロジェクトやプログラムの成果とは異なり、中長期における復興成果を達成する要因は十分に理解されていません。しかしながら、その要因は、災害後数十年や数世代において、被災コミュニティがより強靱かつ公平で繁栄した社会へ復興するかどうかを決める決定的要因です。復興は多くのステークホルダーが関与し、数十年にわたる長く複雑で費用の掛かるプロセスであり、長期的な考慮事項については軽視される可能性があります。

国際復興フォーラム2023では、復興政策決定者、市民社会のリーダーおよび専門家が、強靱で持続可能な未来へ向けたより良い長期復興成果へと導くメカニズムについて議論を行います。登壇者は、災害の影響を受けた被災国の長期にわたる復興経験について討論し、近年の災害からの復興、及び現在進行中の災害復興に関する長期的復興の観点からの教訓を得ることができます。また、これらの復興経験を振り返り、影響を受けたコミュニティにとって長期的な観点から、成功および失敗となる要因について議論します。登壇者は、どのように長期的復興や持続可能性の目標を設定し、より良い復興成果への資金を調達し、誰一人取り残さないようにできるか、またそれにはどういった制度や政策が必要となるかを検討するために、既存のプラクティスやメカニズムを議論し、将来的な脅威や気候変動に対する強靱性を生み出すためには、どのような成果を得るための復興計画を立てるべきかについて検討します。



AGENDA:

開会

13:00 - 13:20

開会挨拶

ロナルド・ジャクソン

IRP運営委員会議長
国連開発計画(UNDP) 危機対応局
防災・復興・レジリエンス強化チーム ヘッド

主催者挨拶

内閣府*

齋藤 元彦

兵庫県知事

水鳥 真美 (特別ビデオメッセージ)*

国連事務総長特別代表(防災担当)兼 国連防災機関長

基調講演

13:20 - 14:00

武村 雅之

名古屋大学減災連携研究センター 特任教授

エミル・K・サダイヌ*

フィリピン政府 公共事業道路省 次官

パネルディスカッション1:大規模災害からの長期的復興経験からの教訓

14:00 - 15:30

モデレーター:

ロナルド・ジャクソン

1. ローリー・ジョンソン

ローリー・ジョンソン・コンサルティング&リサーチ代表
カリフォルニア大学バークレー校 客員科学者
(2005年ハリケーンカトリーナ)

2. リアン・ダルジール*

ニュージーランド・クライストチャーチ元市長
(2010-2011年カンタベリー地震)

3. ナディーム・アマッド*

パキスタン政府 地震復興庁(ERRA) 元副長官
国家防災管理庁(NDMA) 元長官
(2005年地震及び2010年洪水)

4. アレックス・パマ*

フィリピン政府 市民防衛局 元局長
(2013年台風ハイエン)

パネルディスカッション2:

より良い長期的な復興成果を確保するための優良プラクティスと革新

15:40-17:10

モデレーター:

国連防災機関*

1. インドネシア政府 国家開発企画庁(BAPPENAS)*
(長期復興ガバナンス)

2. インド政府*
(長期的な復興成果のための資金調達)

3. ラテンアメリカ地域*
(誰一人取り残さない長期的な復興)

4. ファラ・カビール*
アクションエイド・バングラデシュ カントリーディレクター
(復興を通じた長期的な気候変動へのレジリエンス)

5. 地方政府*
(長期的な復興への備え)

総括・閉会

17:10-17:30

国連防災機関*

村上 威夫

IRP運営委員会共同議長
内閣府 政策統括官(防災担当)付参事官
(普及啓発・連携担当)

* 予定

使用言語:
日本語・英語(日英同時通訳有り)



ひょうご安全の日推進事業



REGISTRATION:

参加申し込み方法は、こちらの2次元バーコードを読み込むか、リンク先よりアクセスし、登録フォームにご記入ください:<https://qrco.de/bdWpEJ>

国際復興フォーラムについてのご質問は、メールまたはお電話にてお問い合わせください。
お問い合わせ先メールアドレス: irpforum@recoveryplatform.org
IRP事務局電話番号: 078-262-6041

